

2023年10月29日(日)

日本キリスト教団 <sup>きゅうほうぎょうかい</sup>久宝教会  
第66巻第30号(通算3362号)  
教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:00-10:20 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください  
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう  
週報

教会標語

かみさま 神様がすべての人と共に <sup>ひと とも</sup>おられる  
ことを証ししていく <sup>あか きょうかい</sup>教会



ホームページ「久宝教会」  
(ウェブサイト)

<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>  
【連絡先(牛田)】090-9161-4027

[kyuho-church@koinonia.or.jp](mailto:kyuho-church@koinonia.or.jp)

この「確かさ」は当て外れということがありません。私たちが頂いている聖霊の働きによって、  
人を大切にする神の思いが、すでに私たちの心に注がれているからです。(ローマ5:5)

こうたんぜんせつ だい しゅじつれいはい  
降誕前節 第9主日礼拝

《<sup>れいはい</sup>礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたでも  
ご視聴いただけますので、それぞれの場所 <sup>ばしょ とも</sup>で共に礼拝をして <sup>いただ</sup>頂けます》

ぜん そう もくとう 奏 黙 禱 AVE VERUM CORPUS (©著作権消滅)

招きの詞 詩編 104編 24節

賛美歌『アイオナ共同体賛美歌集』「世の初め鳥のように」(©JASRAC)

聖書 ヨハネによる福音書 1章 1-14節

お祈り

賛美歌 21-223番「造られたものは」(©教団讚美歌改訂委員会)

メッセージ「私たちはここにいる」 牛田 匡 牧師

賛美歌 21-514番「美しい天と地の造り主」(©著作権消滅)

主の祈り 62番「天にいます わたしたちの父」(©教団讚美歌改訂委員会)

献げ物(\*)

誕生者祝福式(\*\*)

派遣 21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ)(©JASRAC)

祝福 牛田 匡 牧師

後奏 アーメン コーラス (21-40-6番)(©教団讚美歌委員会)

報告 (4頁をご参照ください)

《席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

\* 「献げ物(献金)」は参加費ではございません。

受付に献金箱がございます。ご用意のある方のみ、お献げください。

\*\* みんなで今年度10月までにお生まれの方をお祝いいたします。

ご遠慮なさらず、どなたでもお申し出ください。

主よ、あなたの業<sup>わざ</sup>はいかに豊かなことか。  
あなたは知恵によってすべてを造られた。  
地はあなたの造られたもので満ちている。

聖書 ヨハネによる福音書 1 章 1-14 節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

<sup>1</sup> 初めに言<sup>ことば</sup>があった。言<sup>ことば</sup>は神<sup>a</sup>と共<sup>つ</sup>にあった。言<sup>ことば</sup>は神であった。<sup>2</sup> この言<sup>ことば</sup>は、初めに神と共<sup>つ</sup>にあった。<sup>3-4</sup> 万物は言<sup>ことば</sup>によって成った。<sup>b</sup> 言<sup>ことば</sup>によらずに成ったものは何一つなかった。<sup>c</sup> 言<sup>ことば</sup>の内に成ったものは、命であった。この命は人の光であった。<sup>5</sup> 光は闇の中で輝いている。闇は<sup>d</sup> 光に勝たなかった。

<sup>6</sup> 一人の人が現れた。神から遣<sup>つか</sup>わされた者で、名をヨハネと言った。<sup>7</sup> この人は証しのために来た。光について証しをするため、また、すべての人が彼によって信じる者となるためである。<sup>8</sup> 彼は光ではなく、光について証しをするために来た。

<sup>9</sup> まことの光があった。その光は世に来て、すべての人を照らすのである。<sup>10</sup> 言<sup>ことば</sup>は世にあった。世は言<sup>ことば</sup>によって成ったが、世は言<sup>ことば</sup>を認めなかった。<sup>11</sup> 言<sup>ことば</sup>は自分の<sup>e</sup> ところへ来たが、民は言<sup>ことば</sup>を受け入れなかった。<sup>12</sup> しかし、言<sup>ことば</sup>は、自分を受け入れた人、その名を信じる人々には、神の子となる権能を与えた。<sup>13</sup> この人々は、血によらず、肉の欲によらず、人の欲にもよらず、神によって生まれたのである。

<sup>14</sup> 言<sup>ことば</sup>は肉となって、私たちの間に<sup>f</sup> 宿った。私たちはその栄光を見た。それは父の独り子としての栄光であって、恵みと真理とに満ちていた。

(脚注 a: 別訳「もとに」、b: 異本では「成ったもので言によらずに成ったものは」、c: 別訳「成ったものは、言の内にある命であった」、d: 直訳「光を捕らえなかった」、別訳「光を理解しなかった」、e: 別訳「国」、f: 直訳「幕屋を張った」)



## 《先週のメッセージより》10月22日収穫感謝礼拝メッセージ

「賜物を活かす」より

牛田匡牧師

聖書 ルカによる福音書 19章11-27節

今年も収穫の季節を迎えました。私たちは食べることに生きていくことはできません。生き物はその命を維持していくために食べ物は不可欠ですから、「食べ物を作る農業は、隣人の命を生かす仕事である」とも言われます。私たちが日々生きていて、食べる物が与えられているということは、それ自体が決して当たり前のことではなく神様を始めとして、実に多くの方々の働きによって支えて頂いている「有り難いこと」なのだと思います。秋の実りを感謝する時に、そのことを改めて心に留めたいと思います。

今回のお話は一読すると、お金持ちの主人が僕たちにお金を預け、それぞれの僕たちがそのお金を元手にして、さらにお金を儲けて褒められたというお話です。当時の庶民の暮らしは、とても貧しく、現在のようなお金を中心とした経済ではなく、いわゆる物々交換も多かったようです。そのような時代にまとまったお金を運用して更に大金を儲けるといえるのは、恐らく身分や権力を利用して、搾取するような方法、まさに「預けなかったものも取り立て、蒔かなかったものも刈り取る」(21)のような方法に他なりません。ですから、イエス様がこのたとえ話を通して、財産も権力も何も持っていない弱く小さくされた人たちに伝えられたことは、さらに弱い人々からお金をむしり取って成果を出して、権力者から褒められなさいということではなく、「誰でも持っている人は、さらに与えられるが、持っていない人は、持っているものまでも取り上げられる」(26)という不公平な世界、神の正義と公正が全く実現していないおかしな現実の中でも、ただ流されて黙って搾取され続けて行くのではなく、「おかしなものはおかし」「不正は不正だ」と声をあげていくこと、権力者に対して臆せず、糾弾していくことだったのではないのでしょうか。

その意味で、命の神から私たちが与えられている賜物を活かすとは、今、言うべきことを言い、為すべき事を為すということなのではないかと思えます。半月前から始まったイスラエルとハマスの戦争によって、既に死者は5000人を超えました。病院まで破壊され、批難が高まっていますが、国連安保理では一時停戦が採決されませんでした。一刻も早く命を破壊する戦争が止み、この地上に平和が実現されるために私たちの賜物を活かすこと。そのために私たちは今日も祈り求め、それぞれの場において、今なすべきことをなしながら用いられて参ります。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



YouTube



◎ 先週の報告 (10月22日) 収穫感謝礼拝

礼拝出席 大人7名 子ども2名 献金 大人6,000円 中継視聴者数4回 感謝さんとさんが、礼拝に初めて来会されました。

礼拝後に、釜ヶ崎のためにおにぎりを183個作って、収穫感謝礼拝で献げられたお野菜などと一緒におい食堂にお届けして、四角公園にて配布いたしました。120人以上の方々が列に並ばれていました。来月は第三週の11月19日の予定です。

◎次週 2023年11月5日(日) 召天者記念礼拝(降誕前節第8主日礼拝)

招きの詞 ヨハネによる福音書 3章16-17節

聖書 詩編 51編 1-11節

メッセージ「ダビデとヘロデ」水谷憲牧師

賛美歌 21-8 (©讚美歌委)、21-433 (©P.D.)、21-382 (©JASRAC)



「召天者記念礼拝」ですので、ご家族やご友人など先に天に召された方々のお写真をお持ちになって、ご参加ください。また11月は「愛児祝福月間」ですので、子どもが出席された場合、礼拝の中で「愛児祝福式」を行います。

礼拝後10・11月期の「教会を考える会」を行います。その後、13時半より奈良県王寺町にある王寺墓地にて墓前礼拝が行われます。また15時からは柏原市にある特別養護老人ホーム「第二好意の庭」内にて「召天者記念礼拝」が行われます。

◎お知らせ

- ・これまでの「週報」や「メッセージ(全文)」はホームページに掲載しています。また中継録画のメッセージ部分をYouTubeでご覧いただくことも可能です。感染症予防のためなど、それぞれの方が参加しやすい形で礼拝にご参加ください。
- ・小さい子どもたちもどうぞご一緒にご参加ください。また11月5日は
- ・11月3日(金・文化の日)11時~14時半に、小阪教会にて「わい愛バザー」が開催されます。カレーや石窯焼きピザ、炊き込みご飯などの他、13時からはファミリーコンサートも行われます。このバザーの収益は、滋賀県にある障がい者施設・止揚学園への寄付等に活用されます。小阪教会へのアクセスは、近鉄奈良線・河内小阪駅、近鉄奈良線・俊徳道駅、JRおおさか東線・俊徳道駅下車、徒歩10分程です。

◎ 次週以降の行事予定

	メッセージ	行事
11/5	水谷牧師	(愛児祝福月間)教会を考える会 召天者記念礼拝・聖餐式 13時半~ 王寺墓地墓前礼拝(牛田) 15時~ 敬老ホーム「第二好意の庭」 永眠者記念礼拝(牛田)
11/12	牛田牧師	(愛児祝福月間) 15時~王寺墓地、教区墓前礼拝(牛田)
11/19	牛田牧師	(愛児祝福月間)おにぎり支援
11/26	水谷牧師	(愛児祝福月間)誕生者祝福式

当教会は日本基督教団に属するプロテスタント教会です。「統一教会」「エフ/6の会(もみのり会)」「モルモン教(末日聖徒イエス・キリスト教会)」等とは一切関係ありません。